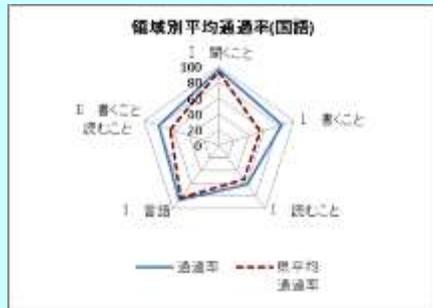
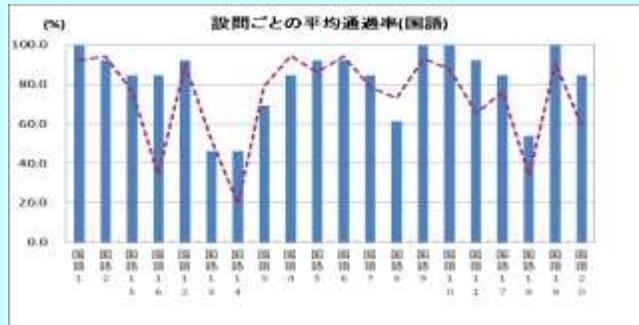


「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校82.3%, 県73.6%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



本年度の結果について

- 全体的な傾向 (タイプⅠ, Ⅱの状況, よい領域はどこか) について
タイプⅠは82.7%, タイプⅡは80.8%の通過率となっている。特に偏った傾向はない。言語などの基礎的・基本的な内容については定着が図られていると考えられるが、読むことの領域が61.5%で一番通過率が低く、昨年度からの継続課題である。
- 昨年度の課題への取組の成果 (あるいは課題)
昨年度一番通過率が低かった故事成語の問題は、辞書を引く活動や故事成語のカード作りを通して親しむ取り組みにより、改善が見られた。読む力を高めるための取組として、表現技法を手掛かりにして読み取る指導を行った。引き続き、文章に即して長文を読み、段落の関係や心情の変化などをしっかり読み取れるよう計画的に指導していく。

重点課題

【課題1】

登場人物の心情把握の問題の通過率が46.2%と一番低かった。他の場面と関連づけて心情を捉えることができていない。

【課題2】

タイプⅡの「情報の取り出し・根拠を明確にした記述」をする問題において、通過率が53.8%と低かった。誤答になった生徒は3つの条件の内、2つしか満たしていなかった。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】

表現技法を手掛かりに読み取る指導を継続し、さらに作品全体を見渡して心情を把握するために、効果的な単元を貫く言語活動を設定して指導する。

【課題2】

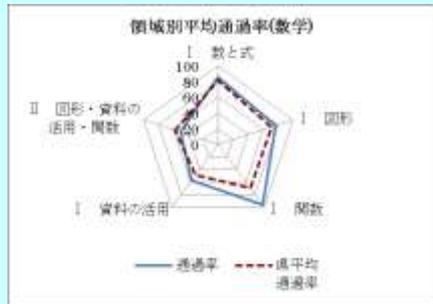
定期試験でも、条件を満たして書く問題への正答率が低いので、今後も授業や試験などで繰り返し書く作業を取り入れて指導を行う。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	1・2年生 復習テスト			1・2年生 期末試験	1・2年生 市学力到達度検査	2年生 全国学力・学習状況調査	1・2年生 学年末試験
目標値	50.0%			60.0%	60.0%	50.0%	60.0%
実施後数値							

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	1・2年生 復習テスト			1・2年生 期末試験	1・2年生 市学力到達度検査	1年生 H27「基礎・基本」	1・2年生 学年末試験
目標値	50.0%			60.0%	60.0%	50.0%	60.0%
実施後数値							

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校75.2%, 県70.4%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



本年度の結果について

- 全体的な傾向 (タイプ I, II の状況, よい領域はどこか) について
タイプ I は 82.4%, タイプ II は 50.8% の通過率となっている。この結果から、基礎的・基本的な内容については定着が図られていると考えられるが、一方では、資料の整理について判断した理由を選択する, 比例・反比例について数学的な表現を用いて記述する等の問題の通過率が低い。
- 昨年度の課題への取組の成果 (あるいは課題)
昨年度は、関数の領域の比例の考えを使って課題解決をする方法を説明する問題で課題が見られた。そこで、方法を説明するポイントを明らかにして学習場を設定する取組を行った。その結果として、昨年度の通過率は 30.0% に対し、今年度は問題が異なるが反比例を利用して課題解決をする方法を説明する問題において通過率が 38.5% となった。

重点課題

【課題 1】

実験結果から、 y は x に比例することをグラフの特徴から説明する問題に課題がある。比例の特徴として、グラフが原点を通ることを記述していない生徒が 76.9% いる。この中には、問題を数学的モデル化せずに回答している生徒が多い。
(通過率 23.1%)

【課題 2】

資料の傾向を捉え、判断した理由を正しく選択する問題に課題がある。
(通過率 30.8%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題 1】

問題解決の場面において、問題を数学的モデル化することの意識づけを行い、その際にどの公式や定義を利用しているかを明らかにさせる指導を行う。

【課題 2】

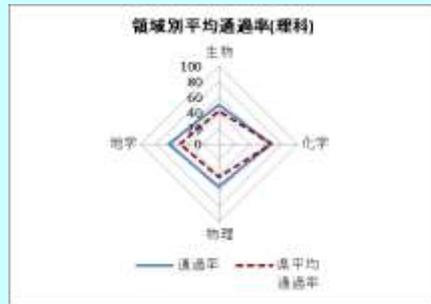
問題場面の把握、選択肢の内容の把握と共に、問題解決に際して、資料の特徴のどの部分を利用するのかを考える場面をより多く設定する。

【課題 1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		2年生 中間試験			1年生 市学力到達度検査		
目標値		65.0%			65.0%		
実施後数値							

【課題 2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法							1年生単元末テスト 2年生学年末試験
目標値							65.0%
実施後数値							

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校58.8%, 県50.2%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



本年度の結果について

調査の結果について

○全体的な傾向

タイプⅠの全体通過率 59.0%, タイプⅡの全体通過率 58.7%とほぼ差がないが, 生物と物理のタイプⅠの問題の通過率が低い。生物は植物の種類の違いによる特徴を問う問題(通番 6), 物理は cm^2 を m^2 になおして圧力を計算する問題(通番 14)に課題がみられる。

○昨年度の取り組み

実験の目的やその方法と実験結果とのつながりを理解できるよう取り組むことについては, 実験結果から判断できることを問う問題(通番 8)の通過率が 61.5%であった。習得した知識をそのまま解答する生徒が多かったため, 観察・実験の考察の方法について, 継続して指導を行っていく必要がある。

重点課題

【課題1】

被子植物と裸子植物の花のつくりのちがいについて, アブラナとマツの花の相違点を問われているが, 被子植物と裸子植物の違いである子房の有無についてだけ解答している生徒が多かった。(通過率 7.7%)

【課題2】

光合成について, 実験結果をもとに考察を行う問題で, 問題で行っている実験からは光合成に「光」が必要としか判断できないが, 習得した知識から, 「光・水・二酸化炭素」が必要と解答する生徒が多かった。(通過率 61.5%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】

種類が違うものを比較させることで, 自ら「共通点」と「相違点」を見つけさせる。習得している知識をそのまま答えるのではなく, 問題の意図を読み取り, 図をみて判断する習慣をつけるよう指導していく。

【課題2】

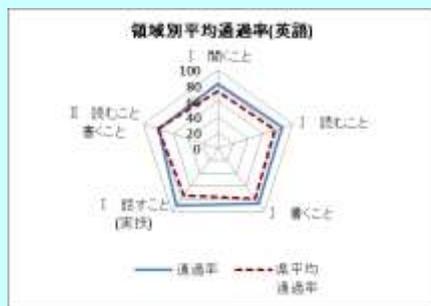
目的を意識させて観察・実験を行い, 実験結果から分かることは何かをしっかりと考えさせるよう指導していく。問題を解くときは, 習得している知識と実験結果が混同しないよう, 類似問題に定期的に取り組ませる。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		2年生 中間試験		1・2年生 期末試験	1・2年生 市学力到達度検査		2年生 学年末試験
目標値		40.0%		50.0%	55.0%		60.0%
実施後数値							

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		1年生 中間試験		2年生 期末試験	1・2年生 市学力到達度検査		1・2年生 学年末試験
目標値		65.0%		70.0%	70.0%		70.0%
実施後数値							

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校85.1%, 県68.2%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



本年度の結果について

タイプⅠは 86.6%, タイプⅡは 79.5%の通過率となっている。この結果から、基礎的・基本的な知識はある程度定着しているが、英文を読んだり書いたりして活用する力が弱いことが分かる。タイプⅠを領域別に見てみると、「聞くこと」の平均通過率が 82.2%と最も低い。昨年度も「聞くこと」が 80.0%と課題となっており、引き続き指導改善に努めていく必要がある。タイプⅡでは、昨年度の平均通過率が 50.0%で最も課題があった「情報を基に中心となる事柄を正確に読み取ること。」が、今年度は 84.6%に向上していた。中心となる事柄を正確に読み取るために、昨年度から継続して、事前に読み取りのポイントを与えてから読ませ、まとまった英文を読んで要約する活動を仕組んできた。今年度も継続して取り組んでいきたい。

重点課題

【課題1】

タイプⅠ「聞くこと」の領域で、“Can I use your bike?” の依頼の問いかけに対して、“Sure”と適切に応じた生徒は 30.8%だった。69.2%の生徒が“Yes, I can”と解答している。

【課題2】

タイプⅡ「読むこと書くこと」の領域で、情報を基に、分かったことが伝わるように、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある一貫した英語の文章を書く力が十分とは言えない。(69.2%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】

依頼などの話し手からの働き掛けに対する反応の仕方は、場面や状況、聞き手によって様々であるため、できるだけ、実際の場面を設定し、ペアやグループでロールプレイを行い、理解を図らせる。また、依頼の問いかけと、通常助動詞の疑問文との違いを、比較して整理させる。

【課題2】

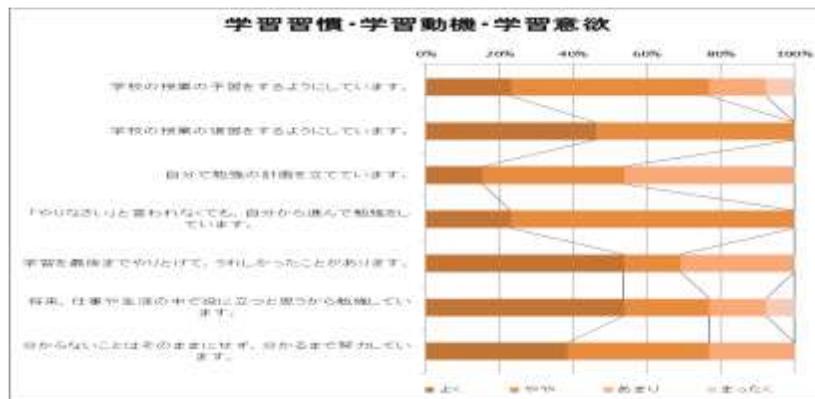
読んだことについて、その内容を理解するだけでなく、自分なりの感想を述べたり、賛否を表明してその理由を添えたりするなど、読んだことを基にコミュニケーションを図らせるような指導を行う。また、接続詞や代名詞に着目して読んだり、書いたりする学習活動や、一貫した内容の英文を書く学習活動を通して、文と文のつながりを意識させる。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		2年生 中間試験		1・2年生 期末試験	1・2年生 市学力到達度検査		1・2年生 学年末試験
目標値		70.0%		70.0%	70.0%		70.0%
実施後数値							

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				1・2年生 期末試験	1・2年生 市学力到達度検査		1・2年生 学年末試験
目標値				70.0%	70.0%		70.0%
実施後数値							

質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：生徒質問紙調査）

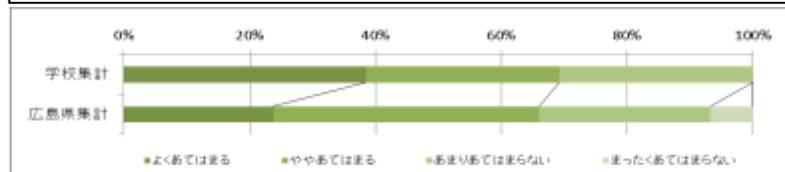
(1) 生活・学習



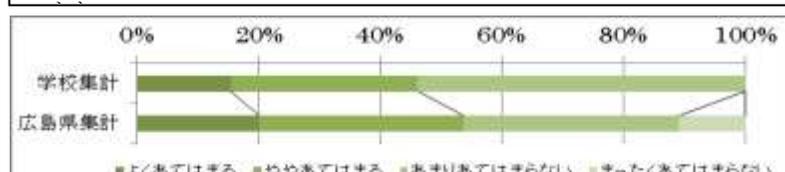
生徒の回答についての課題（現状値）	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
「自分で勉強の計画を立てています。」の否定的評価が46.2%と高い。	学校の取り組みとして、毎日の学習時間を生活ノートに記入することや、学習相談を定期的実施し、生活・学習習慣の把握を図っている。今後は、職員会議等において、情報の共有化を行い、各教科で取り組みを強化していく。	全学年	70%	生徒調査	11月		

(2) 教科

国語の授業では、目的に応じて資料を読み自分の考えを、話したり、書いたりしています。



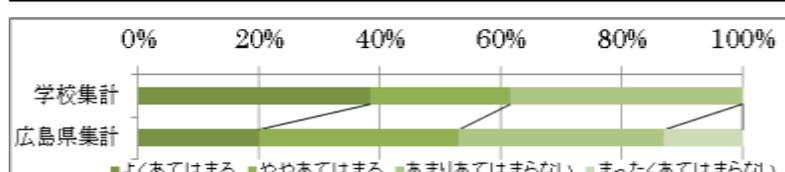
数学の授業では、解き方や考え方を話し合う時に理由をあげて説明しています。



理科の授業で学んだことを、ふだんの生活で使ったり、学んだことがどのような場面で使えるのか考えたりしています。



英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、メモを取ったり、感想や意見などを話したり書いたりしています。



	生徒の回答についての課題（現状値）	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
国語	「国語の授業では、目的に応じて資料を読み自分の考えを、話したり、書いたりしています。」に対する肯定的評価が69.3%である。	単元を貫く言語活動を設定し、自分の考えをしっかりと書く指導を繰り返す。	2	70.0%	生徒アンケート	12月		
数学	「解き方や考え方を話し合う時に理由をあげて説明している。」に対する肯定的評価が46.2%である。	小集団における話し合いの場面において、数学的な表現を理由とした説明を促すとともに、そのポイントを提示する。	2	60.0%	単元末に意識調査を行う。	11月		
理科	「理科の授業で学んだことを、ふだんの生活で使ったり、学んだことがどのような場面で使えるのか考えたりしています。」に対する肯定的評価が61.5%である。	学習したことが、身近なところや社会でどのように役立っているのかを紹介したり、生徒に調べさせることで日常生活との関連について考える習慣をつけさせる。	2	70.0%	生徒アンケート	1月		
英語	「英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、メモを取ったり、感想や意見などを話したり書いたりしています。」の肯定的評価が61.6%である。	・授業で英文を聞く時に、ポイントをメモしながら聞く活動を仕組む。 ・読んだ内容を理解するだけでなく、自分の感想や意見を友達と交流する活動を仕組む。	2	70.0%	生徒アンケート	2月		